

製品名: CYP2C8 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09654**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	CYP2C8
別名	CYP2C8; Cytochrome P450 2C8; CYP11C8; Cytochrome P450 11C2; Cytochrome P450 MP-12; Cytochrome P450 MP-20; Cytochrome P450 form 1; S-mephenytoin 4-hydroxylase
遺伝子 ID	1558.0
SwissProt ID	P10632
免疫原	ヒト CYP2C8 の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

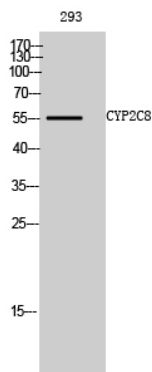
この遺伝子は、シトクロム P450 スーパーファミリーに属する酵素をコードしています。シトクロム P450 タンパク質はモノオキシゲ

ナーゼであり、薬物代謝やコレステロール、ステロイド、その他の脂質の合成に関わる多くの反応を触媒します。このタンパク質は小胞体に局在し、その発現はフェノバルビタールによって誘導されます。この酵素は、抗てんかん薬メフェニトイン、ベンゾ [a]ピレン、7-エトキシマリリン、抗癌剤タキソールなど、多くの生体異物を代謝することが知られています。この遺伝子は、染色体 10q24 上のシトクロム P450 遺伝子群内に位置しています。この遺伝子には、いくつかの異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2010 年 11 月],触媒活性: $RH + \text{還元フラビントタンパク質} + O(2) = ROH + \text{酸化フラビントタンパク質} + H(2)O$,注意: 選択的スプライシングが起こることが示されているが、短縮型は機能しないと考えられている。、補因子: ヘム基,機能: シトクロム P450 は、ヘムチオレートモノオキシゲナーゼの一種である。肝ミクロソームにおいて、この酵素は NADPH 依存性電子伝達経路に関与する。ステロイド、脂肪酸、生体異物など、構造的に無関係な様々な化合物を酸化する。アラキドン酸のエポキシ化では、14,15-および 11,12-シス-エポキシエイコサトリエン酸のみを生成する。これは、抗癌剤パクリタキセル (タキソール) の代謝を担う主要な酵素です。、誘導:フェノバルビタールによる。、オンライン情報:CYP2C8 アレル,類似性:シトクロム P450 ファミリーに属します。、

研究分野

アラキドン酸代謝、リノール酸代謝、レチノール代謝、シトクロム P450 による異物代謝、薬物代謝

画像データ



1: 1000 に希釈した CYP2C8 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット分析